

# TARO RACE REPORT

TARO SEKIGUCHI SANMEI Team TARO PLUSONE 2024

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

## SUPERBIKE RACE in OKAYAMA

2024 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第7戦

- 岡山県
- 岡山国際サーキット
- 1周 = 3.747km
- クラス / JSB1000
- マシン / BMW M1000RR
- タイヤ / BRIDGESTONE

### JSB1000 #12 関口 太郎

予選

**14**位

(タイム: 1分32秒700)

9月28日(土)  
天 候: 晴れ/曇り  
コース: ドライ

決勝

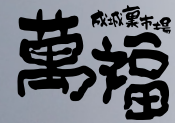
**11**位

9月29日(日)  
天 候: 曇り  
コース: ドライ

# SDG



三明電気工事



## 限られた時間の中で合わせた帳尻

全日本ロードレース選手権は早くも残り2戦となった。シリーズ第7戦は岡山県・岡山国際サーキットで開催された。前週に行われた事前テストは、今回も予算の問題でキャンセル。レースウィークからのスタートとなっていた。少しでも多く走りたいところだったが、初日となった金曜日の1本目で電気系トラブルが発生し、ほとんど走ることができなかった。この出遅れは痛かったが、昨年のデータをもとに、今年のコンディションに合わせて足回りを詰めていくが、初日の感触は今ひとつというところで、まだまだ攻められる状態になっていなかった。



土曜日の公式予選は決勝を見据えてユーズドタイヤでスタート。この辺りは事前テストができていないし寄せが来ていたが、セッション終盤にニュータイヤを履いてアタック。単独で走るように心掛け、ほぼ自己ベストと同タイムの1分32秒700をマーク。金曜の2本目と予選のみしか走っていない中では、まずまずのタイムだったが、まだ気持ちよく走れる状態ではなかった。



決勝日朝のウォームアップ走行では、予選からの延長線上でマシンセットを進めていくと、ユーズドで1分32秒957を記録。決勝に向けて、いいところまで来ていた。

9月下旬にしては暑いコンディションとなった岡山ラウンド。決勝が行われた日曜日曇りも多かったが観戦には良い一日となっていた。



レースがスタートすると直後のMCシケインで大渋滞となっていたところ、児玉選手と接近し行き場がなくなり失速。前の集団に離されてしまう。そこから1台、また1台とかわし12番手に浮上。さらに前を走る清成選手を追っていくが、8周目に入ったところで赤旗中断。残り15周で再スタートが切られる。

2度目のスタートは、スタートダッシュはまずまずだったが、1コーナーのポジション取りがうまくいき再び清成選手を追っていく。そのテールを捕らえると6周目のダブルヘアピン進入でパス。前方には、7位争いの集団が見えていた。レース終盤になると、その集団の中から遅れてきた長島選手に迫っていくとテールtoノーズとなる。何とかかわそうとバッシングを仕掛けたが、抜ききれず11位でチェッカーフラッグを受けたのだった。

今回も事前テストに参加できなかった割りには、1分32秒台アベレージで走ることができましたし、レースで帳尻を合わせることができたと思います。今回も多くの皆様の応援が力になりました。ありがとうございます。次戦は、最終戦鈴鹿なので良い感じでシーズンを締めくくられるように頑張ります。引き続き応援よろしくお願いたします。

関口 太郎

